別紙

I. 事業評価総括表 (平成30年度)

(単位： 円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修及び維持運営等措置	林道安良川線舗装工事	梶原町	4,719,600	4,585,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表 (平成30年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修及び維持運営等措置	林道安良川線舗装工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		梶原町				
交付金事業実施場所		梶原町 松原				
交付金事業の概要		総延長 L=180.0m、・幅員 W=3.8~5.6m、・アスファルト舗装工 A=813m ² (t=4cm)				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		梶原町総合振興計画における「命の道の整備」では、生活道や避難路等にかかる整備だけではなく、同計画にある「命の水の確保」において、水源地へかかる道路整備も重要視している。本路線の上流を水源地としている世帯があるなかで、舗装整備がされていないため、豪雨等の影響により路面洗掘がおき通行に支障をきたすと、地域住民による維持管理が必要となり、それは年7回程度の回数に及ぶ。本事業を活用して地域住民の安全な通行はもちろん、維持管理回数を減らし生活を向上させるとともに安定した生活水準を確保することが目標である。				
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果 目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	
	舗装区間での維持修繕作業(7回/年)を0にする。	舗装区間での維持修繕作業に伴う通行制限回数	成果実績	回	2	
			目標値	回	0	
			達成度	%	71.4%	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施					
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
林道安良川線全長1,700mのうち水源地までの約1,000mの区間を6か年計画で整備していくこととしているが、本交付金を活用して約18%にあたる180.0mの舗装工事が完了した。路面状態が改善されたことで、降雨時の路面の洗掘が少なくなり、通行の安全性や利便性が向上するとともに、維持管理等の軽減に繋がった。						

		また、本事業が交付金により実施されていることを広報誌などを通じて地域住民に周知したことにより、電源施設への地域住民の理解が深まった。 梶原町としては、当該交付金事業には十分な成果があると考えており、今後も事業を継続したいと考えている。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	舗装延長	活動実績	m	268.0	255.0	<u>180.0</u>
		活動見込	m	268.0	255.0	<u>180.0</u>
		達成度	%	100.0	100.0	<u>100.0</u>
交付金事業の総事業費等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考	
	総事業費	4,878,360	4,989,600	<u>4,719,600</u>		
	交付金充当額	4,552,000	4,558,000	<u>4,585,000</u>		
	うち文部科学省分					
	うち経済産業省分	4,552,000	4,558,000	<u>4,585,000</u>		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
舗装工事		意向確認型指名競争入札		ミタニ建設工業株式会社		4,719,600
交付金事業の担当課室		梶原町環境整備課建設係				
交付金事業の評価課室		梶原町環境整備課建設係				